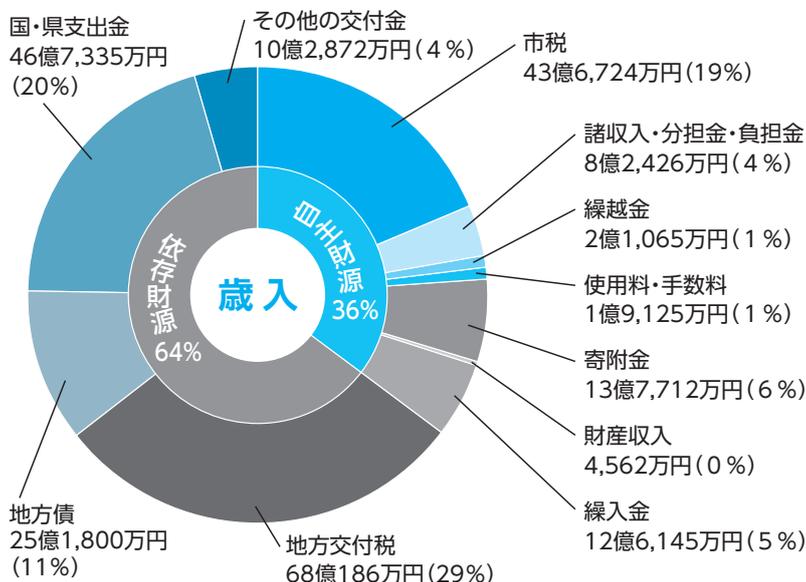


決算報告

令和元年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算を家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。

普通会計 歳入の内訳

歳入総額 232億9,952万円



小城家の家計簿

市の令和元年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えました。市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

令和2年3月31日 住民基本台帳人口 45,107人

項目	収入(円)	増減率
給料(市税)	96,820	2.2% ↑
親からの援助・仕送り(国・県支出金など)	277,206	3.9% ↑
雑収入(諸収入・寄附金など)	54,055	9.8% ↓
貯金の取崩し(繰入金)	27,966	116.4% ↑
前月からの繰越金(繰越金)	4,670	14.6% ↓
新たな借入金(地方債)	55,823	40.3% ↑
合計	516,540	

を翌月へ繰り越します。

市の令和元年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみると、小城市の1カ月の収入は約51万7千円となっています。

収入では、主に、新たな借金(地方債)が増えています。これは、天山区共同環境組合事業(建設)、小・中学校空調設備整備事業、災害復旧事業などの事業費が増えたことによ

る増額です。一方、雑収入(寄附金)が減っています。これは、ふるさと応援寄附金額が減ったことによる減額です。

支出では、主に、自治会費、クラブ会費など(補助費)が増えています。これは、天山区共同環境組合事業負担金の増額によるものです。一方、家の増改築費用(投資的経費)

が減っています。これは、家の建替え(小学校大規模改造事業やスマートインターチェンジ整備事業など)が完了したことによる減額です。



用語説明

《歳入》

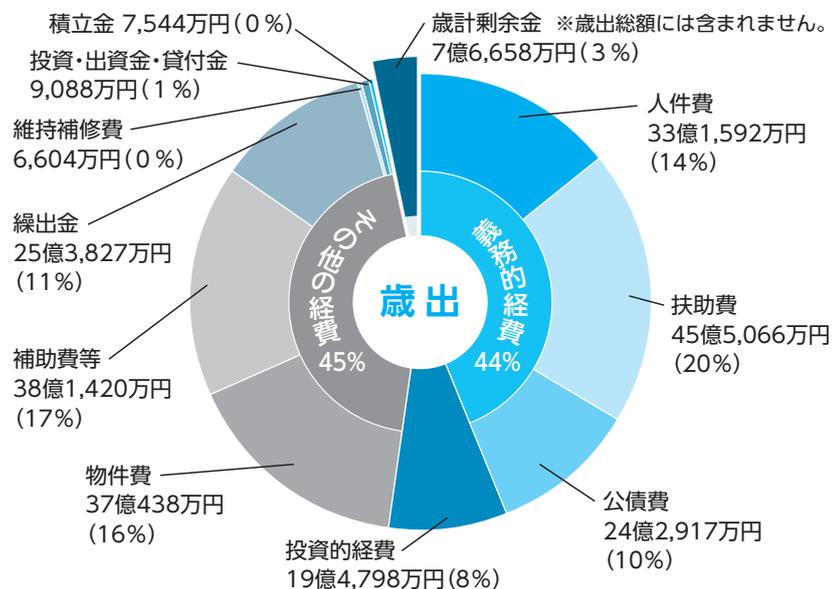
市 税	市民税や固定資産税などに納められたお金
諸収入・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ってきたお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税（所得税、法人税、酒税）の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借りた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない

《歳出》

人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借り入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰出金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません

普通会計 歳出の内訳

歳出総額 225億3,294万円



各会計の決算収支

令和元年度会計別決算

会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)
普通会計		
一般会計	233億1,454万円	225億4,796万円
特別会計		
簡易水道特別会計	829万円	677万円
下水道特別会計	24億7,812万円	24億1,178万円
国民健康保険特別会計	51億8,259万円	50億8,230万円
後期高齢者医療特別会計	5億5,130万円	5億4,212万円
小計	82億2,030万円	80億4,297万円
合計	315億3,484万円	305億9,093万円
公営企業会計		
病院事業会計	11億6,977万円	13億7,619万円
水道事業会計	3億2,734万円	3億352万円

※令和元年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り（繰入繰出）がなかったものとして相殺処理をしているためです。

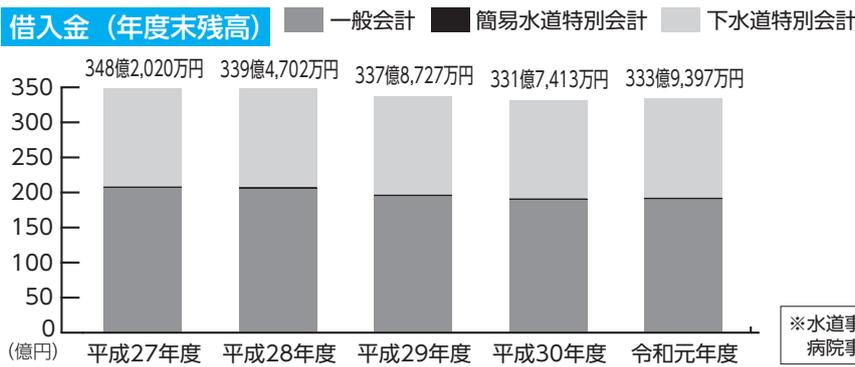
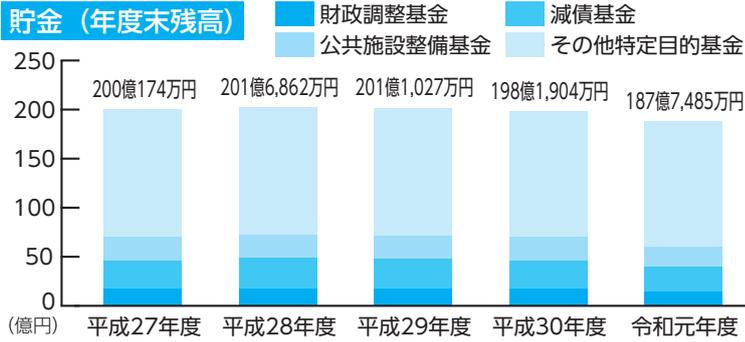
小城家の1カ月の支出の内訳

項目	支出(円)	増減率
食費（人件費）	73,512	0.1% ↓
医療費、教育費など（扶助費）	100,886	5.0% ↑
ローンの返済（公債費）	53,853	2.1% ↓
光熱水費・消耗品など（物件費）	82,124	0.2% ↓
自治会費、クラブ会費など（補助費など）	84,559	47.2% ↑
子どもへの仕送り（繰出金）	56,272	3.0% ↑
家の修繕費（維持補修費）	1,464	0.3% ↓
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,015	2.5% ↓
貯金（積立金）	1,673	21.9% ↓
家の増改築費用（投資的経費）	43,186	5.7% ↓
合計	499,544	

(収入) - (支出) の16,996円



小城市の貯金と借入金（5年分）



市の貯金は、187億7,485万円となり、前年度より10億4,419万円減少しました。また、借入金 は前年度より2億1,984万円増え333億9,397万円となりました。

今後も一般会計では、給食センターの建設や老朽化に伴う施設の更新改修などを計画しています。下水道事業についても、令和12年までの整備を計画しています。

こうしたことから、小城市の貯金は今後減少していきます。



令和元年度に実施した主な事業を紹介します

政策3 歴史、文化と歩んでいく 自然豊かなまち

歴史の継承、文化・芸術の振興

文化課
一般コミュニティ助成事業 240万円
地域コミュニティ活動の充実・強化を図るため、祭りなどのイベントで使用する備品に対して補助金を交付しました。

政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

生涯学習の充実

生涯学習課
牛津公民館管理事業 1,608万1千円
熱中症対策を含めた利用環境のさらなる充実を図り、安心安全な生涯学習の場を提供するため、空調改修工事の測量設計を実施しました。

政策5 みんなでささえあう やさしいまち

高齢者福祉・介護の充実

高齢障がい支援課
地域密着型サービス等整備助成事業 3,708万5千円
地域における医療・介護サービスの充実を図るため、施設整備に対して補助金を交付しました。

政策1 住みたい!と思う 笑顔が集まるキレイなまち

下水処理の充実

下水道課
小城処理区事業 3億7,182万1千円
小城処理区内において、下水道の整備を行いました。

循環型社会の形成

環境課
天山地区共同環境組合事業（建設） 18億1,673万5千円
可燃ごみ焼却施設の建設、施設の維持管理および運営を多久市と共同で行うため、これに必要な費用を負担しました。



▲グリーンヒル天山

政策2 安全に みんなが行き交うまち

道路の保全と交通網の充実

建設課
道路新設改良事業 2,678万6千円
一般車両、歩行者等の安全性と利便性を確保するために、道路改良工事を行いました。



指標からみる財政状況

お知らせ

	令和元年度	平成30年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり) の指標	97.9%	94.2%
実質公債費比率 借金返済の割合	6.2%	5.0%
財政力指数 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.41	0.41
市税徴収率 (現年課税分)	99.2%	99.2%

【経常収支比率】

用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもので、一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

政策10 ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち

防犯体制の充実

防災対策課

LED防犯灯設置補助事業 461万9千円

夜間における犯罪発生防止および地域住民の通行の安全のため、行政区が設置するLED防犯灯の経費の一部に対して補助金を交付しました。

令和元年8月豪雨の災害復旧について

農林水産課

林業施設災害復旧事業 4,871万4千円

被災した林業施設の土砂撤去・路肩補修などを行いました。また、原形復旧工事を行うための測量設計を実施しました。

農村整備課

農地及び農業用施設災害復旧事業 8,837万2千円

被災した農業用施設等の応急対策や応急仮工事を行いました。また、原形復旧工事を行うための測量設計を実施しました。

建設課

道路橋りょう災害復旧事業 4,470万円

被災した道路の土砂および倒木の撤去、道路補修を行いました。また、原形復旧工事を行うための測量設計を実施しました。

健康増進課

社会福祉施設災害復旧事業 364万1千円

被災した社会福祉施設（牛津保健福祉センターアイル）を復旧するための設計業務を行いました。

政策6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

子育て支援の充実

社会福祉課

病児保育施設整備事業 4,134万2千円

病気の児童を適切な環境で一時的に預かる病児保育施設を整備するため、補助金を交付しました。

学校教育、幼児教育・保育の充実

教育総務課

小学校空調設備整備事業 2億265万5千円

中学校空調設備整備事業 1億528万6千円

児童・生徒の健康面や衛生面への配慮や学習環境の充実を図るため、空調設備の整備を行いました。

政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

農林業の振興

農村整備課

基盤整備促進事業 1億3,646万8千円

農業基盤整備促進事業 8,939万4千円

農業競争力の強化を図るため、^{あんきょ}暗渠排水整備や水路整備などを行いました。

政策9 市民みんなが観光ガイド！ ひとがひとを呼ぶまち

情報発信の充実

総務課

ホームページ管理更新事業 642万2千円

スマートフォンでホームページを閲覧する際、最適なレイアウトで見ることができるように変更しました。また、自動翻訳システムおよび音声読み上げ機能の追加を行いました。